

小野市立中番小学校 いじめ等防止基本方針

平成26年1月29日作成
令和元年6月 5日改定
令和7年4月教職員共通理解

小野市いじめ等防止条例の基本方針

【基本理念】 いじめ等のない明るく住みよい社会の創造
～あらゆるいじめのないハートフルシティおの～

【基本目標】

いじめ等の実態を知る

いじめ等をなくす人づくり

いじめ等をなくす気運づくり

いじめ等解決の仕組みづくり

【基本課題】

・アンケート調査の実施
・あらゆる機会での情報収集

自己肯定感を育む関係作り

互いの違いを尊重する心を育み
実践する教育の実現

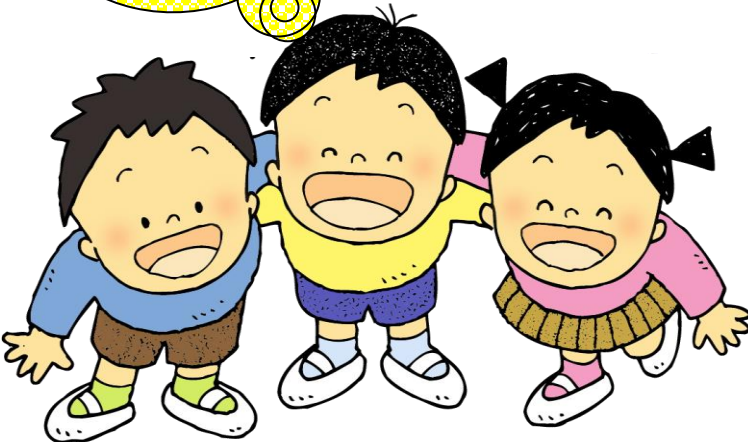
小野市いじめ等防止条例の周知

いじめ等防止の啓発

いじめ等相談体制の強化

関係機関との連携の強化

みんなでつくろう！
いじめのない
誰もが楽しい中番小学校を



中番小学校の基本方針

【基本理念】 いじめを生まない学校風土の創造

【基本計画】

I いじめの未然防止
①道徳教育の充実
②人権教育の充実
③体験教育の充実
④特別活動の充実
⑤保護者や地域の方への働きかけ

II 早期発見、早期解決
①日々の観察
②観察の視点
③日記や連絡帳(生活の振り返り欄)の活用
④教育相談(学校カウンセリング)の実施
⑤いじめ実態調査アンケートの実施

III 早期の適切な対応
①正確な実態把握
②指導体制、方針決定
③児童への指導・支援
④保護者との連携
⑤継続した対応(心のケア)

IV ネット上のいじめへの対応
①啓発・研修
②早期発見と早期対応
③関係機関との連携

V いじめ問題に取り組む体制の整備
①校内『いじめ等防止対策委員会』の役割
②いじめに対する措置
③いじめ全体指導計画の作成と実践的な校内
研修の実施
④相談体制やカウンセリング体制の充実

VI 重大事態への対処

【具体的な取組】

I いじめを生まない土壌づくり、人づくり(未然防止)
①生命尊重の精神や人権感覚を育む取組を行う。
②道徳の授業を核として、道徳的判断力を高める。
③体験教育を通して他者や自然との直接的なかかわりの中で自己
と向き合わせる。
④コミュニケーション活動を重視した授業形態を多く取り入れる。
⑤『小野市いじめ等防止条例』の周知徹底を図る。
・インターネットの使い方のルールやモラルについて啓発を行う。

II 早期発見、早期解決
①休み時間や昼休み、放課後等の機会に、児童の様子に目を配る。
・「児童がいるところには、教職員がいる」ことを目指す。
・チェックリストを活用する。
②担任を中心に、教職員は、児童が形成するグループやその人間関係
の把握に努める。
③日記や連絡帳(生活振り返り欄)の活用
④定期的な教育相談期間の設定、全校生を対象とした教育相談の実施。
⑤生活実態調査アンケート、定期的ないじめ実態調査アンケートを実施
する。(1か月に1回程度)

III 早期の適切な対応
①当事者双方、周りの子どもから、個々に聴き取り、記録する。
②・指導の方針を明確にし、教職員全体の共通理解を図る。
※『小野市いじめ等防止条例に係る報告書』を活用する。
・指導体制を整え、対応する教職員の役割分担をする。
・教育委員会、関係機関との連絡調整を行う。指導体制、方針を決定する。
③「いじめは決して許される行為ではない」という人権意識を持たせる。
④保護者の協力を求め、学校との指導連携について協議する。
⑤カウンセラー等を活用し、児童の継続した心のケアを図る。

IV ネット上のいじめへの対応
①ネット使用上のルールについて、講習会や授業を行う。
②保護者にも啓発し、連携を図る。
③場合によっては、警察等の専門機関と連携して対応する。z

V いじめ問題に取り組む体制の整備
①いじめ防止対策委員会[校長・教頭・生活指導担当・養護教諭・各学年層代表・
当該学級担任・スクールカウンセラー]を設置及び定期的開催、いじめ問題
に対する調査、対応、体制づくりを行う。
※ケースによっては、市教委、市福祉部局、県教委学校支援チーム・
スクールソーシャルワーカー、警察もメンバーに加える。
②・児童理解に関する研修、指導援助に関する研修を実施する。
・各分掌の役割を明確化し、日常的な取組を実施する。
③・スクールカウンセラーを中心とした校内の相談体制づくりを行う。
・カウンセリングマインド研修を実施し、教師のカウンセリング技量の向上を図る。

VI 重大事態への対処
教育委員会と十分に協議し、速やかに調査委員会等を設け、事実関係を明確にするため
の調査を実施する。